

地域イノベーション学研究科 博士後期課程 カリキュラム・マップ

○必修科目 □選択科目 太字:コアカリキュラム科目

		1年		2年		3年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
【専門科目】 14単位以上	必修科目 4科目(6単位)						
	○地域新創造マネジメント特論Ⅰ(2単位)	→		○地域新創造マネジメント特論Ⅱ(2単位)	→		
	○グローバルコミュニケーション演習(1単位)	→		○地域イノベーション学演習(1単位)	→		
	○グローバルコミュニケーション演習(1単位)	→					
選択科目 4科目(8単位)以上							
	<input type="checkbox"/> 工学イノベーション実践特論(2単位)						
	<input type="checkbox"/> バイオイノベーション実践特論(2単位)						
	<input type="checkbox"/> 社会イノベーション実践特論(2単位)						
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅰ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅱ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅲ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅳ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅴ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅵ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅶ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅷ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅸ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅹ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅺ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> 地域新創造特論Ⅻ(2単位)	→					
	<input type="checkbox"/> インターンシップ研修(2単位)	→					
【特別研究】 8単位	必修科目 1科目(8単位)						
	○特別研究(8単位)	→					

【合計】
22単位以上

地域イノベーション学研究科 後期課程

		到達目標	養成する人間像				
			高度な研究開発に関する能力		プロジェクト・マネジメントに関する能力		グローバル化に対応した国際感覚
			知識 ^a	実践力 ^b	知識 ^a	実践力 ^b	理解力 ^a
専門科目	地域新創造マネジメント特論Ⅰ	地域イノベーションを的確に理解し、地域発のイノベーションを牽引する人材として実社会で活躍できる。	○		○	◎	
	地域新創造マネジメント特論Ⅱ	地域発のイノベーションを牽引する中心的な人材として実社会で活躍できる。	○	○	○	◎	
	地域イノベーション学演習	地域発イノベーションの誘発に貢献できる人材となるための素養が身に付く。	○	○	◎	○	
	グローバルコミュニケーション演習	国際感覚に基づいた研究開発・プロジェクトマネジメント能力を身に付けるための素養を得ることができる。					◎
	工学イノベーション実践特論	工学分野における基礎知識を修得することで、地域イノベーションを誘発する人材に必要とされる基礎的素養を身に付けることができる。これにより、地域社会で生じている課題を見出し、その解決に有効な手段を考えることができる。	◎				
	バイオイノベーション実践特論	バイオ分野における基礎知識を修得することで、地域イノベーションを誘発する人材に必要とされる基礎的素養を身に付けることができる。これにより、地域社会で生じている課題を見出し、その解決に有効な手段を考えることができる。	◎				
	社会イノベーション実践特論	人文社会科学分野における基礎知識を修得することで、地域イノベーションを誘発する人材に必要とされる基礎的素養を身に付けることができる。これにより、地域社会で生じている課題を見出し、その解決に有効な手段を考えることができる。	◎				

地域新創造特論 I	授業の成果を、論文に反映することができる。	◎				
地域新創造特論 II	有機化学の将来を展望するための知識を習得して、現在および将来の研究に活かす。	◎				
地域新創造特論 III	最新の植物分子生物学と遺伝子工学の研究手法・研究動向を理解できる。	◎				
地域新創造特論 IV	植物育種の基本的な知識・思考が身につくとともに、最新の植物分子生物学・分子遺伝学を活用した植物分子育種学研究ができるようになる。	◎				
地域新創造特論 V	最新の植物分子細胞生物学の研究手法・研究動向が理解できる。	◎				
地域新創造特論 VI	材料科学の基礎と、半導体デバイスの動作、応用について理解できる。	◎				
地域新創造特論 VII	企業活動や経済活動が、それが生み出す商品・サービスの特性や、グローバル化の進む今日の経済環境によってどのように規定されているのかを理解するとともに、その国民経済レベルおよび地域経済レベルでの位置づけや課題について考えられるようになる。	◎				
地域新創造特論 VIII	生物素材計測の具体例について学習することで、食品の形、構造、色彩、味覚などの形で現れる生物素材情報の計測と解析、およびその加工プロセスの特性を客観的に評価ための素養が身に付く。	◎				
地域新創造特論 IX	資源循環システムにおける経済理論について、理論研究とフィールドワークを通じて実践的に理解できるとともに、現在の資源循環システムにおける課題について系統立てて提示することができる。	◎				
地域新創造特論 X	農業経済学・地域政策学をベースとした研究の手法・動向が理解できる。	◎				

	地域新創造特論XI	「食と健康科学」に関連した領域の研究手法・研究動向を理解し、研究課題の設定と研究論文のまとめ方を身につけることができる。また、研究開発を推進するうえで必要となる特許についても知識を身につけることができる。特に、バイオ系特許の特殊性について理解を深めることができる。	◎	○	○		
	地域新創造特論XII	経営学の理論を用いて現実の企業・組織に関する事例などを調査・分析し、問題発見と解決策提示の力を磨き論文にまとめる力を養うことを目標とすることで、企業・組織が直面している問題を発見し、解決策を提示できるようになる。	◎				
	インターンシップ研修	「博士を持ったビジネスパーソン」に必要な能力を養成し、地域産業界を支える人財としての基礎力が身に付く。			○	◎	
特別研究	特別研究	「独立した研究者」として研究活動が遂行できる高度な基礎研究能力と研究開発マネジメント力が修得できる。	○	◎	○	◎	○

養成する具体的な人材像

1) 高度な研究開発に関する能力

- a. 専門分野における専門的な知識を修得している
- b. 専門分野を活かして研究を実践できる能力を修得している

2) プロジェクト・マネジメントに関する能力

- a. 専門分野を中心とした幅広い知識を活用して、問題解決の方策を考案する能力を修得している
- b. 問題解決の方策を管理・遂行する能力を修得している

3) グローバル化に対応した国際感覚

- a. グローバル化社会で活躍できる基礎的語学力と国際性、社会の抱える様々な問題や異文化を理解することのできる国際感覚を修得している